

第72回中小企業団体全国大会が開催されました



10月22日(木)、茨城県水戸市において、全国中小企業団体中央会と茨城県中小企業団体中央会の共催により「第72回中小企業団体全国大会」が開催され、全国各地から中小企業団体の代表者約380(うち山形県4名)が参加しました。

大会決議では、「中小企業・小規模事業者等の生産性向上・経営強靱化支援等の拡充」「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」について、21項目を決議しました。

本大会の意義を内外に表明するため、山本主税・茨城県中小企業青年中央会会長が、「大会宣言」を高らかに宣し、満場の拍手の下、採択されました。

併せて、本大会では、優良組合(32組合)、組合功労者(74名)、中央会優秀専従者(20名)の表彰が執り行われました。

また、令和3年11月25日(木)に、神奈川県において開催することが発表され、大会旗が森洋全国中小企業団体中央会長から坂倉徹・神奈川県中小企業団体中央会副会長へ継承され、閉会となりました。

なお、県内の表彰者、決議内容については、以下のとおりです。

第72回 中小企業団体全国大会決議

令和元年に多発した自然災害による被害、10月からの消費税率引上げ、米中摩擦等による通商問題を巡る動向などにより、国内外のマイナス要因が強まる中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や令和2年7月の自然災害の更なる発生により、中小企業・小規模事業者の経営は、かつて経験したことのない未曾有の難局に直面している。